

団体名：産直「味菜」

代表者：小澤六男

所在地：群馬県前橋市荻窪町

〔ポイント〕

平成15年7月に、320人で前橋北部産直組合を組織し、産直「味菜」としてスタートした。後発直売所としてのスタートだったため、他との差別化が求められた。そこで前橋市周辺で古くからあった伝統野菜の復活に向けた活動を展開。直売所の看板食材とした他、伊香保温泉の有名旅館にも納入。(宮内菜、時沢大根、上泉大根等) また、消費者と生産者の交流活動を目的とした「からっ風サポータークラブ」を組織した。

多品目生産を目的とした切り花栽培の普及、さらに女性起業活動支援、消費者の要望により地域の養豚農家の豚肉販売など、地産地消の拠点として展開。さらに、女性の参画により、土日の特別企画や、「休憩コーナー」の活用により、消費者との距離を縮め、地元から支持してもらえるような「地産地消」の農産物直売所運営の取り組みが行われている。

【活動内容】

1．直売所を拠点とした消費者交流活動

直売所開設当時から「からっ風サポータークラブ」を消費者30名程で結成し、サツマイモや伝統野菜の播種、収穫体験や調理加工実習を通して、農業者と消費者の交流を活発に行っている。

2．商品の品揃えを目的とした切り花の普及

切り花を購入したいという消費者の要望に応え、新規に花き栽培農家を募り、実証ほや講習会を経て、平成19年に花の部会を30名ほどで結成した。年間の品揃えも多くなり、花も「直売所の売り」となり、生産者の意欲も高まり、花の産地化が図られた。

3．「中部管内農産物直売所・加工組織等ネットワークの会」活動の参画

中部農業事務所管内(前橋市、富士見村)の直売所や加工活動を行っている組織に加入し、組織間競争だけでなく、情報の共有化、資質向上や販売強化の研修、ポジティブリストや農薬飛散防止等の食の安全対策に努めている。

4．賑わいの場の創設

隣接する日帰り温泉施設とともに、前橋市北部地域の市民の賑わいの場となっている。消費者と生産者、出荷者同志の交流等、コミュニティービジネスとして活気があり、直売所の「休憩コーナー」の活用や女性役員参画による地域食材を使ったすいとんや野菜ジュースなど土日企画が好評となった。